

住吉祭神輿渡御ボランティア



📍 実施年度

2013年度～継続中

📍 主な連携先・メンバー

浅香山校区自治連合会／住吉大社宿院頓宮／堺みこし会／関西大学人間健康学部学生

📍 活動地域

大和川～住吉大社頓宮

👉 活動の目的

- ・堺市に密着した形で地域貢献の達成および関西大学堺キャンパスの認知度向上
- ・地域貢献活動に参加した学生に対する教育的効果

👉 連携にいたる経緯

堺キャンパス付近の地域住民から、担ぎ手が著しく少なくなった住吉祭の神輿渡御にボランティアとして学生を派遣してほしい旨の要請を受け、地域貢献の一環として学生を派遣した。



👉 活動内容

住吉祭の神輿渡御ボランティア

住吉祭は、生玉夏祭り（生國魂神社）、天神祭（大阪天満宮）、住吉祭（住吉大社）と続く大阪三大夏祭のひとつで、8月1日に行われる神輿渡御は夏祭りの最後を締めくくる神事であり、大阪市の住吉大社から住吉大神の神霊をお遷しした重さ約2トンの大神輿を大阪市と堺市を隔てる大和川で受け取り、ここから学生たちが宿院頓宮まで勇壮に練り回る。



👉 活動の成果

- 1 人間健康学部学生が地域貢献活動に参加することによる、堺キャンパスの認知度向上
- 2 学生の活力を地域へ還元し、同時に日頃の取り組みが地域活性化に貢献できることを学生に認識させること

👉 今後の課題・目標

- 1 ボランティアに参加する学生は体育会の学生が中心であったため、それ以外の学生にも積極的な参加を促していきたい
- 2 申込者数が減少傾向にあるため、学生への周知および広報の方法を再検討したい

👤 教員紹介

人間健康学部教授 村川 治彦（むらかわ はるひこ）

東京大学文学部（宗教学宗教学科）を卒業後、米国に留学しCalifornia Institute of Integral Studiesで東西の身体技法と比較思想を学ぶ。博士論文で取り上げた「氣」の研究をきっかけに、言語による体験の深化に関心をもつ。キルケゴールの「人生は振り返らなければ理解できないが、前を向かなければ進んで行かない」をモットーに、日常の様々な実践活動で経験したことを言語化し、反省し、共有するプロセスを教育活動に取り入れる試みを続けている。



事業
領域

堺市推進事業

地域協働型事業
の推進

人間健康学部推進事業

教育の専門分野・
学生活力の活用